

# 「学びの教室」

## 通信

駒本小学校特別支援教室直通電話 3827-5575 (ファクシミリ兼用)

令和3年6月21日  
特別支援教室「学びの教室」  
巡回指導拠点校・通級指導校  
文京区立駒本小学校  
校長 吉岡 淳  
文京区立汐見小学校(巡回校)  
校長 永井 昌美

## 自分の感覚

いよいよ、今学期の特別支援教室における「通級による指導」も、残すところ数回となりました。これだけ気温が高い日が続くと、さすがに、多くの子ども達の服装は半袖になっているようです。ところが、特別支援教室を利用する児童の中には、「自分の感覚がよく分からない」ために、服装の切り替えなどが難しいお子さんがいます。



特別支援教室のある卒業生(現在、高校生)は、「温度感覚が鈍くて、ちょっとした気温の変化に気が付かないことがあるんだ。だから、湿度も表示されるデジタル表示の温度計を部屋に置いて、25℃になったらエアコンをつける。あと、室温は24℃なんだけど湿度が60パーセント以上になったら、むしむしするということだから除湿でつける。」と自分で心地よく過ごせる目安を予め決めていました。彼に言わせると、この数値は絶対ではなく、あくまでも基準で、少し調整はするということでした。

このように、発達の特徴がある人の中には、特定の感覚に弱さがあったり、体外や体内からの情報をうまく統合することに難しさがあったりすることがあります。加えて、受け取った刺激や情報をまとめ上げるのが難しい人もいます。温度の感覚以外にも「疲労感」、「空腹感・満腹感」、「痛み」などの感じ方に特徴があったり、感じるまでに非常に時間がかかったりすることがあるとされています。そのような場合は、周囲の大人が、お子さんの様子に注意を払い、「その様子だと疲れているようだね。」「お腹空いているんじゃないかなあ。」「満腹しょ。」と気付かせてあげることが大切になります。



### <保護者の皆様へ 夏季個人面談について>

7月15日(木)より、夏季個人面談を行います。利用児童の全家庭が対象です。後日配布します「個人面談のお知らせ」をご覧になった上で、締め切り日までに日程調査票をご提出ください。

### <今後のコミュニケーションタイムの主な学習予定>

「マイクロアドベンチャー」 ※他に「アハ! ショット」などを予定しています。

様々な事物の画像の一部分をプロジェクターで拡大投映します。部分から全体を推測し、何の画像か当てるゲームです。子ども達に人気がある学習活動の1つです。答える際のルールを遵守する習慣を形成するほか、解答に自信がない場合にもがんばって推測して答えようとする大切さなどにも触れていきます。



\*学習指導要領自立活動

3 人間関係の形成

(3) 自己の理解と行動の調整に関すること (4) 集団への参加の基礎に関すること

4 環境の把握

(2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること

<以上>